

ウラジロエノキ

か めい
科名 ニレ

べつ めい
別名

がくめい
学名 *Trema orientalis.*



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 かごしま やくしま たねがしまいなん おきなわ
鹿児島 (屋久島・種子島以南)、沖縄、
ちゅうごくなんぶ たいわん とうなん
中国南部、台湾、東南アジア

は かたち
葉 の 形 ちようだ えんけい
長楕円形

は ぶち
葉 の 縁 きよし
鋸歯

は さき
葉 の 先 えいけい
鋭形

は しゆるい たんよう
葉 の 種類 単葉

は つきかた ごせい
葉 の 付方 互生

は きぶ ぜんせんけい
葉 の 基部 漸尖形

み しゆるい かくか
実 の 種類 核果

はな がくいろ みどりいろ めだ いろ
花・萼色 緑色や目立たない色

せいめい
説 明 ていち から さんち あち せいいく じょうりよく こうぼく じゅひ へいかつ はいはくしよく
低地から山地の荒れ地に生育する常緑の高木です。樹皮は平滑で灰白色をしています。
は ひょうめんには 短い毛があり触るとざらつきます。葉の大きさは長さ 5-12 cm、幅 2-6 cm で細
なが なが がた そくみやく つい は うら け みつせい ぎんはくしよく
長いハート型、側脈は 4~5対となっています。葉の裏には毛が密生し、銀白色をしてい
ます。実は核果で球形、径 3-4 mm で熟すと黒色になります。